公益財団法人 日本測量調査技術協会

平成28年度事業報告

公益目的事業の推進（基本方針）

- (1) 先端測量技術の高度化と業界への情報発信、提案力強化
- (2) 地理情報の国際標準化と普及、資格認定制度の定着
- (3) 測量成果の品質向上と品質検定事業の充実
- (4) 災害時緊急撮影による社会貢献

1. 会員の動向

会員区分	H28年3月末	H29年3月末	増減	H29年4月
正会員	77社	81社	4社増	94社
賛助会員	14社	14社	—	15社
計	91社	95社	4社増	109社

・新規入会会員（正会員）4社

株式会社ハイドロシステム開発（H28年3月理事会承認、H28年4月入会）

ルーチェサーチ株式会社（H28年3月理事会承認、H28年4月入会）

株式会社日野（H28年3月理事会承認、H28年4月入会）

国土情報開発株式会社（H28年6月理事会承認、H28年6月入会）

2. 主要会議の開催状況

区分	会議名称	開催年月日	主な承認審議
評議員会	第10回定時	H28.6.15	H27年度決算承認、次期評議員・役員選任
理事会	第22回	H28.5.31	評議員会開催、評議員・役員候補者選定委員
	第23回	H28.6.15	職務執行報告、評議員・役員候補者選定結果
	第24回	H28.6.15	代表理事・業務執行理事選定、新規入会
	第25回	H28.12.13	職務執行報告、新規入会
	第26回	H29.3.21	H29年度事業計画・収支予算、経理規程改定

2) 委員会

区分	会議名称	開催年月日	主な検討事項・報告		
運営委員会	第1回	H28.5.24	理事会、評議員会の議案確認		
	第2回	H28.11.30	理事会の議案確認、地理院意見交換会内容		
事業委員会	第1回	H28.4.19	H27活動報告、H28活動方針、市場動向		
	第2回	H29.3.6	H28活動総括、H29組織体制、H29地区委員活動計画		
地区事業委員会 ・講演会 ・委員会 (意見交換会)	地区委員会	開催年月日	講演会(非会員)	委員会(会社)	合計(延べ)
	関東	H28.7.13	89名(13名)	14名(10社)	講演会: 375名(89名) CPD証明書314名
	北海道・東北	H28.8.4	35名(6名)	23名(12社)	
	近畿・中四国	H28.8.25	68名(21名)	29名(11社)	
	北陸・信越	H28.9.6	62名(19名)	25名(14社)	
	東海	H28.9.29	62名(17名)	16名(10社)	
九州	H28.10.13	59名(13名)	20名(11社)		
技術委員会	第1回	H28.6.9	メンバー挨拶、活動方針・計画、H27年度報告		
	第2回	H28.9.7	活動報告、APA108号編集状況、技術発表会報告		
	第3回	H28.11.9	活動報告、活動方針改定、APA108号編集状況		
	第4回	H29.2.1	部会報告、普及書企画案、i-Con及びCIM活動状況		
編集委員会	第1回	H28.6.7	先端測量技術108号編集内容の審議		

3. 技術研究活動

1) 技術部会・WG活動(自主研究活動)

名称	登録者	会員数	開催回数	主な活動
空中計測・マッピング部会	53名	45社	5回	i-Constructionの対応、国交省や地理院への提案等
レーザWG	18名	12社	4回	航空レーザによる定期縦横断測量マニュアル(案)等の策定
MMS_WG	54名	32社	5回	「MSSガイドブック」ダウンロード版を作成・提供
図式検討WG	9名	7社	4回	地図情報レベル10000デジタル版図式の作成
位置情報・応用計測部会	45名	39社	5回	TLS性能確認ガイドライン検討等
GNSS_WG	9名	8社	2回	マルチパス実験データ整理と影響解析
河川の深浅測量WG	26名	19社	7回	堆砂計算マニュアル化、帳票作成
GIS部会	50名	45社	6回	BIM・CIM関連研究、測量・GIS関連読本作成準備等
国土管理・コンサル部会	28名	26社	4回	液状化判読要領・チャートの検証、熊本地震現地調査等
UAV技術WG	51名	33社	7回	国交省対応、UAV関連機器・法制度の調査等
技術普及部会	13名	13社	3回	技術発表会の運営、地理空間情報フォーラムでの出展
計(延べ)	356名	279社	52回	技術委員会4回、幹事会6回を開催

2) 外部委員会への委員等派遣(主な派遣先)

地理院測量行政懇談会(1名)、同検討部会(1名)、広報推進協議会(2名)、内閣官房UAV官民協議会(2名)、全測連UAS測量調査協議会(3名)、国交省総プロ(1名)、建コン協会道路調査研究会(4名)、地理院測量業務効率化検討委員会(1名)、国交省ICT導入協議会(1名)、同推進委員会(2名)、国交省CIM導入ガイドライン策定WG(4名)、地理院公共測量課題調査検討委員会(1名)等

3) 意見交換会の開催と会議等への参加

国土地理院との意見交換会を2回開催(H28.11.9、12.13)

4) 受託研究活動

国土地理院他より3物件、1059万円の受託研究業務を実施

4. 技術普及活動

1) 第38回測量調査技術発表会:四谷区民ホールで開催(H28.7.1)参加者:412名(CPD証明書358名)

●技術発表14編、部会・WG発表5編 ➡ 優秀発表表彰3編

●特別講演:布施准教授(東京大学)「インフラとしてのデータ整備と解析技術による利活用の展開～社会基盤情報学へ向けて」

2) 機関誌「先端測量技術」107号掲載 優秀技術論文:会長賞1編、奨励賞2編

3) 機関誌「先端測量技術」108号発行 特集:三次元地理空間情報-利活用と展望- 1800部印刷し、会員及び関係機関へ配布

4) 地理空間計測・活用技術セミナー 2016を開催(H28.12.2) TKP博多駅前シティセンター 参加者:144名(CPD証明書122名)

技術セミナー 9件、基調講演:小林教授(熊本大学)「CIMを学ぶ-点群データの生かし方-」、三谷教授(九州大学)「防災と情報技術」

5) G空間EXPO2016:測量4団体による地理空間情報フォーラム2016開催(H28.11.24~26)

来場者:19,138人

測技協は企画展示会に出展、測技協の活動紹介と既刊書籍の紹介 アンケート回答者数(184名)

6) 図書販売

『JPGIS入門-JPGIS2014対応-』刊行(4月)3月末時点で販売部数72部(うちS-GI-Cert初級テキストセット45部)

『MMSガイドブック(車搭載レーザ測量の手引き)』刊行(6月)PDF無償ダウンロード版として提供、3月末時点で82件

『公共測量積算ハンドブック(平成28年度版)』刊行(10月)3月末時点で販売部数204部

- 7) 「測技協キャビネット」の運営・活用 委員会・技術部会等の活動報告や各種情報を収録し、情報共有化を促進
- 8) 国土交通大学への講師派遣 専門課程の他、特別課程「ドローン等による調査・測量」に講師派遣
- 9) 国土地理院に部外研究員を1名派遣
- 10) その他の技術普及活動
 - 「測量の日」関連行事に実行委員会として参加、実行委員監査として1名派遣
 - JICA課題別研修 東日本大震災の地形調査・被災地見学講師に1名派遣(H28.9.28～9.29)
 - 第49回地図展2016 地図展推進協議会として参加(H28.11.4)

5. 地理情報の標準化活動

- 1) ISO/TC 211の国内審議団体として国内委員会4回、幹事会4回を主催
- 2) ISO/TC 211の国内審議団体活動
 - 第42回ISO/TC 211総会 H28.6.13～6.18 ノルウェー・トロムソ
 - 第43回ISO/TC 211総会 H28.11.28～12.2 アメリカ合衆国・レッドランズ 測技協からも1名参加
- 3) 地理情報JIS原案作成委員会を主催
 - メタデータ第1部、符号化、データ品質を分科会で検討中

6. 地理情報標準認定資格(S-GI-Cert)

地理情報標準の普及を目指して創設 今年度の講習・試験実施は下記のとおり

資格区分	実施日	実施場所	試験問題	受講者	受験者	合格者	累計合格者
初級技術者	7月10日	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡	多肢択一式30問	412名	402名	289名 (71.9%)	1029名
中級技術者	10月8日 (3日間)	東京・大阪	多肢択一式20問 記述式3問	99名	97名	13名 (13.4%)	60名
上級技術者	5月22日	東京	論述式(小論文) 3問出題2問回答	—	15名	4名 (26.7%)	8名

- 講習・試験委員会を14回、資格認定委員会を8回開催
- 国土地理院の「請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格」に登録済み H26.7.25
- 4年間の累計で、初級技術者1029名、中級技術者65名、上級技術者16名 計1110名が誕生(認定者含) そのうち登録者は、初級641名、中級60名、上級16名 計717名(H29.3月末時点)

7. 測量成果検定事業

- 1) 活動方針として、これまでと同様に「迅速かつ丁寧な品質検査を実施する」を掲げている
- 2) 基本測量及び公共測量の空中写真撮影、数値地形図データ作成(車載型レーザ測量含む)、写真地図作成、航空レーザ測量、基盤地図情報作成、砂防基盤地図データが対象 検定実績は以下のとおり

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
公共 空中写真撮影	20	216	167	293	46	63	190
公共 航空レーザ測量	615	84	287	2,266	1,197	731	224
公共 写真地図	0	33	15	5	30	16	50
公共 数値地形図	682	1,212	2,120	1,675	2,213	1,809	2,134
基本測量	0	877	143	327	300	0	371
合計(万円)	1317	2,423	2,732	4,516	3,786	2,619	2,969
件数	34	59	90	96	81	80	108

3) 品質向上講習会の開催 (H28年度)

- これまでの指摘事項を整理・分析して品質向上講習会を開催、CPD証明書発行

会場	開催日	参加人数	カリキュラム (午前)	カリキュラム (午後)	測量CDP
東京会場	6月23日	21名	測量法と公共測量 公共測量標準図式と適用の注意点 数値地形図データ検査事例	事例紹介 演習：1/2500都市計画図 測量成果の表示法	6ポイント
大阪会場	7月21日	15名			
福岡会場	8月24日	14名			

8. 災害時緊急撮影対応等

- 協定先：国土地理院、東北・近畿地方整備局、国総研、JH中日本 本年度要請は以下の通り

- 1) 熊本地震 (4月14日～5月2日)
- 2) 広島県福山市の洪水氾濫 (6月22日～23日)
- 3) 台風10号による東北・北海道地方の災害 (8月19日～31日)
- 4) 東北地方整備局・総合防災訓練 (中止)
- 5) 近畿地方整備局・地震時初動対応訓練 (11月18日～9月14日)
次年度からの新協定先：四国・中部・中国の各地方整備局